

「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」 ヘブル 11:1 「信じる」この一言で、人の人生は大きく変わります。聖書には、“信じる”事で素晴らしい祝福を受けた信仰の勇者たち、ノア・ダビデ・アブラハムたちの事が載っています。

アブラハムは今から約4千年くらい前の人ですが、75才の時（妻のサラは65才）神様から「私はあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し～」と言われ、あなたの子孫は空の星のようになるといわれ、99才になっても信じました。神のことばを信じ、従うという2つの事で子々孫々に大きな祝福を受けています。神のことばがポイントです。エデンの園のエバのことを考えて見ましょう。罪も死も苦しみもないエデンの園にいたのですが、「善悪の木の実」を食べたら死ぬといわれた神のことばを信じなかったのです。その時、罪が入り、死が入り、苦しみが始まりました。エデンの園を追い出され、その後人間は苦しみと叫び、死と呪い、病と絶望の歴史が始まりました。一方黙示録3:8のフィラデルフィヤ教会の人は「わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかった～」故に神から誉められ、ことばを信じる信仰によってこの世においても勝利を得（Iヨハネ5:4）死で終わるのではなく、永遠に向けて発展し進んでゆくことを教えられました。

信じるか信じないかに祝福とのろいの差があります。エバの不信仰とアブラハムの信仰！これは全く対照的な事柄で、私たちの人生を大きく分けてゆきます。

様々な困難、問題を神のことばというクッションで受けてゆく時に、その問題には必ず解決があり、大きな栄光と勝利を見ることが出来ます。み声新聞証し面「神様のことばの真実」にはゼミの教授との折り合いが悪く、大学を中退しようと考えていた人が、神のことばに触れて涙が流れ「もう一度やり直そう。」と思い、大学を卒業できた話（951号）雲の間にある虹誌9月号「ルイジアナから Praise the Lord!」他にも、み言葉のクッションで困難を乗り越え、栄光をあらわしていった記事が満載されています。信じるというのは、人がことば=神のことばと共に立つということで、私たちは更にこのことばを受けて、神の言葉が真実であることをみてゆきましょう！そしてこの信仰を主からいただきましょう！！「生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。」 第1ペテロ2:2

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

ノア勝裕&和子



Siloam

2017年8月20日 No.959

(シロアム:遣わされた者 ヨハネ9:7)

新年度の御言葉 「それと同じように、信仰も、

もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」ヤコブ2:17

♪ God is working <for my good ,> ×2

God is working for my good, Yes ,He really is!!



主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>